

技 管 ー 9 6 9  
平成 2 8 年 3 月 3 1 日

秋 田 県 建 設 産 業 団 体 連 合 会 長  
一 般 社 団 法 人 秋 田 県 建 設 業 協 会 長 様

秋 田 県 建 設 部 技 術 管 理 課 長  
( 公 印 省 略 )

コ ン ク リ ー ト 二 次 製 品 に 係 る 材 料 承 認 願 添 付 資 料 に つ い て ( 通 知 )

リ サ イ ク ル 製 品 認 定 制 度 で 承 認 さ れ た プ レ キ ャ ス ト コ ン ク リ ー ト 製 品 の 増 加 に 伴 い、  
J I S 規 格 を 取 得 し な い プ レ キ ャ ス ト コ ン ク リ ー ト 製 品 が 工 事 で 多 く 使 用 さ れ る よ う に  
な っ て い ま す。

工 事 に 使 用 す る 材 料 は、秋 田 県 土 木 工 事 共 通 仕 様 書 に 示 す 規 格 に 適 合 し た も の、ま た  
は こ れ と 同 等 以 上 の 品 質 を 有 す る も の と し て お り ま す が、J I S 規 格 を 取 得 し な い 製 品  
に つ い て も J I S 規 格 品 と 同 等 の 品 質 を 有 す る こ と を 確 認 す る 必 要 が あ る た め、材 料 承  
認 願 に 添 付 す る 資 料 に つ い て、J I S 製 品 と 同 等 の 試 験 結 果 等 の 提 出 を 求 め る こ と と し  
ま し た。

提 出 資 料 の 詳 細 等 に つ い て は、下 記 及 び 別 添 の と お り で す。

1 提 出 資 料

○ コ ン ク リ ー ト 2 次 製 品 に 係 る 材 料 承 認 願 添 付 資 料 ( 別 添 )

\* J I S 規 格 品 に つ い て は、J I S 認 定 証、J I S マ ー ク 表 示 写 真、製 品  
品 質 規 格 以 外 は 不 要

\* 試 験 成 績 表 等 は、材 料 承 認 願 提 出 時 の 直 近 の 結 果 を 提 出 す る も の と し、  
試 験 頻 度 が 別 添 資 料 の 頻 度 内 に 実 施 し た も の と す る。

2 適 用

平 成 2 8 年 4 月 1 日 以 降 に 公 告 ・ 閲 覧 す る 土 木 工 事 か ら 適 用

■ 問 い 合 わ せ 先  
積 算 管 理 班  
TEL 018-860-2432  
FAX 018-860-3800

28.4.-7  
30

コンクリート二次製品に係る材料承認願添付資料

項目	摘要	更新、試験頻度
目次	目次に沿って資料を添付する	—
JIS認証書(写し)	JIS認証工場の場合、添付する (附属書がある場合、それも添付する)	都度
秋田県リサイクル製品認定証(写し)	リサイクル認定証は該当品の場合	都度
製品品質規格	外観、性能、形状・寸法の許容差	都度
配合計画書 ※別紙参照	示方配合及び使用材料品質特性	都度
	※アル骨抑制対策及び方法を明記する	都度
	アルカリ総量計算書	都度
原材料品質証明		
1.セメント	外部試験	1回以上/月
2.骨材 密度及び吸水率試験	自社試験	
安定性	外部試験	1回以上/年
すりへり	外部試験	
粒度(ふるい分け)	自社試験	
粒形判定実績率	//	1回以上/月
微粒分量	//	
有機不純物	外部試験	1回以上/年
アルカリシリカ反応性	外部試験	1回以上/6ヶ月
環境安全品質 <sup>※1</sup>	外部試験(溶出・含有量)	1回以上/3ヶ月
化学分析 <sup>※2</sup>	外部試験(酸化カルシウム、全硫黄、三酸化硫黄、全鉄)	(1年以上の期間基準を満たしている事が確認出来ない場合は1回以上/1ヶ月)
膨張率 <sup>※2</sup>	外部試験	
	※1は溶融スラグ、フライアッシュ使用の場合	
	※2は溶融スラグ使用の場合	
3.水	外部試験(上水道水は不要)	1回以上/年
	※上水道水以外の水の場合の試験項(目懸濁物質の量、溶解性蒸発残留物の量、塩化物イオン(Cl-)量、セメントの凝結時間の差、モルタルの圧縮強さの比)	
4.混和材	外部試験	1回以上/月
	※JIS A 6202に適合する膨張材の場合	1回以上/3ヶ月
5.混和剤	外部試験	1回以上/6ヶ月
6.鋼材(PC鋼材、鉄筋及び鋼管)	外部試験	1回以上/月
コンクリート試験管理表		
1.圧縮強度	自社試験(試験頻度は1回以上/日。配合別に月毎にまとめたもの)	
2.スランプ	//	1回/月
3.空気量	//	
4.生コン中の塩化物量	自社試験(試験頻度は1回以上/月。配合別に月毎にまとめたもの)	
試験機公正証明書		
1.圧縮強度試験機	ルービリティ体系図も添付する	1回以上/年
2.外圧試験機	//	

注1 H.28.4.1以降の入札公告を行う工事より適用

注2 添付資料は、依頼を受けた直近のデータとする

注3 全ての資料に赤判を押す(原本と相違ない旨の証明をする)

注4 対象工事に関して、1冊にまとめて提出する事を基本とする



# 配合計画書

## 示方配合表

・コンクリートの配合種類: No.〇〇 FA ・コンクリートの圧縮強度: 設計基準強度 〇〇N/mm<sup>2</sup>

粗骨材の最大寸法(mm)	スラブの範囲(cm)	空気量の範囲(%)	水セメント比 W/C(%)	細骨材率 S/a (%)	コンクリートの材料単位置量(kg/m <sup>3</sup> )											
					水		セメント		フライアッシュ		細骨材		粗骨材		混和剤	
					W	C	F	S <sub>1</sub>	S <sub>3</sub>	G <sub>1</sub>	減水剤	AE剤				
15	15.0±2.5	6.0±1.0	41	38	140	340	60	474	197	1114	3.00	0.14				

※コンクリート中の塩化物量は0.3kg/m<sup>3</sup>(Cl<sup>-</sup>)以下とする  
 ※アルカリ骨材反応抑制対策は、アルカリ総量で3.0kg/m<sup>3</sup>以下とする

## 使用材料品質特性

(セメント)

メーカー: 〇〇セメント(株)

種類	項目	粉末度			安定性	圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )			化学成分(%)			
		比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)	始発 (h-min)	終結 (h-min)		3日	7日	28日	酸化マグネシウム	三酸化硫黄	強熱減量	全アルカリ
普通ポルトランドセメント		2500以上	60min以上	10h以下	良	12.5	22.5	42.5	5.0	3.5	5.0	0.75以下

(混和材)

メーカー: 〇〇(株)

種類	項目	二酸化ケイ素 (%)	湿分 (%)	強熱減量 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粉末度		フロー値比 (%)	活性度指数			メチレンブルー吸着量 (mg/g)
						45μmふるい残分 (%)	比表面積 (g/cm <sup>2</sup> )		材齢7日 (%)	材齢28日 (%)	材齢91日 (%)	
フライアッシュⅡ種		45.0以上	1.0以下	5.0以下	1.95以下	40以下	2500以上	95以上	-	80以上	90以上	0.60以下

(骨材)

種類	砕砂(S1)			—			細砂(S3)			砕石1505(G1)		
産地	〇〇市△△			—			〇〇市××			〇〇市□□		
寸法	ふるいを通るものの質量百分率(%)											
種類	25	20	15	10	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15		
砕砂(S1)	-	-	-	100	90~100	80~100	50~90	25~65	10~35	2~10		
細砂(S3)	-	-	-	100	90~100	80~100	70~100	60~100	40~75	0~10		
砕石(G1)	-	100	90~100	40~70	0~15	0~5	-	-	-	-		
品種	項目	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	吸水率 (%)	粒形判定実績率 (%)	粘土塊 (%)	有機不純物	微粒分量試験 (%)		粗粒率			
	砕砂(S1)	2.5以上	3.0以下	54以上	-	-	3.0±2.0		2.87~3.17			
	細砂(S2)	2.5以上	3.5以下	-	1.0以下	標準色より淡い	3.0以下		1.34~1.72			
	砕石(G1)	2.5以上	3.0以下	56以上(2005として)	-	-	0.5±0.5以下		5.77~6.35			

(混和剤)

メーカー: 〇〇(株)

項目	種類	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	塩化物イオン量(Cl <sup>-</sup> ) [I種](kg/m <sup>3</sup> )	全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )
減水剤標準形(〇〇)		1.050~1.090	0.02以下	0.30以下
AE剤(〇〇)		1.010~1.050	0.02以下	0.30以下

(鉄線・棒鋼)

メーカー: 〇〇(株)

普通鉄線	線径(mm)	2.6	3.2	4.0	5.0	6.0	
	許容差(mm)	±0.04			±0.05		
引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )		540~1130			440~1030		390~930
種類・呼び名	項目	降伏点 (N/mm <sup>2</sup> )	引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)		曲げ試験	
	鉄筋コンクリート用棒鋼	D6	295 以上	440~600	16以上 (2号試験片)		曲げ角度180° 外側に亀裂を生じないこと
D10							
D13							
D16							

(株)〇〇 △△工場